

安堵町の将来人口の設定 (案)

①奈良県人口ビジョン 抜粋

将来人口展望

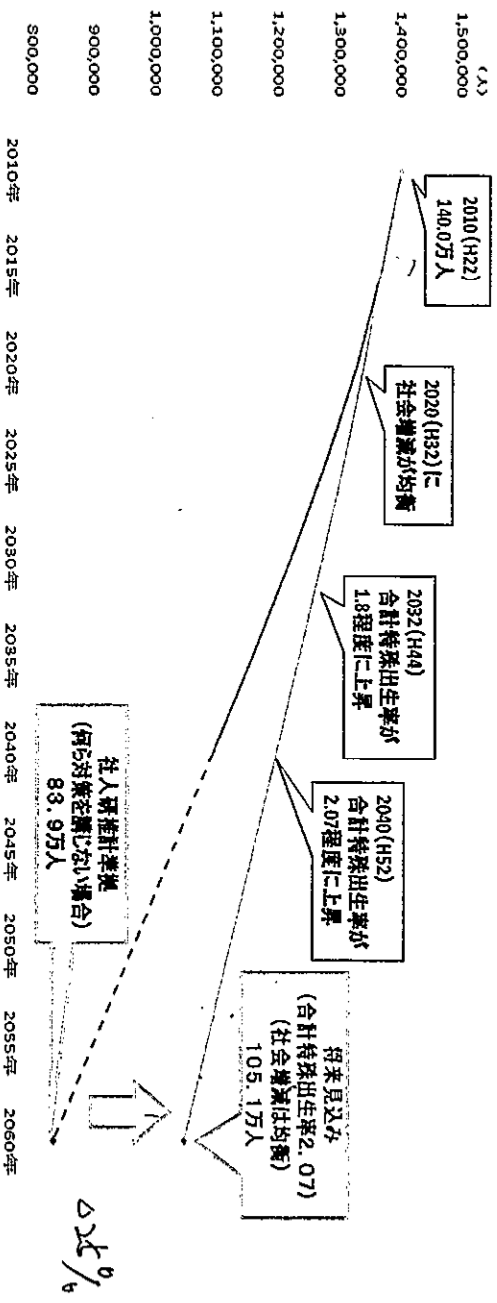
日本全体が人口減少局面を迎える中、本県の人口構成の現状から見ると、人口減少に歯止めをかけることは決して容易ではありません。しかし、将来にわたって本県が持続的に発展していくためには、前述のとおり、自然増減対策と社会増減対策の両面からの取組を進めていく必要があります。とりわけ、しごとの場をつくれば、若者が増え、出生率が上がるという好循環が生まれる可能性が高くなります。

これらの取組などにより、本県の合計特殊出生率が国民の希望出生率1.8から人口置換水準2.07にまで上昇し、さらに社会増減が均衡すると、2060年時点で約105.1万人の人口になることが見込まれ、年齢構成バランスの改善にもつながります。

「住んで良し」「働いて良し」「訪れて良し」の奈良県づくりに積極的に取り組み、本県の2060年時点における人口を105万人以上とすることを目指します。

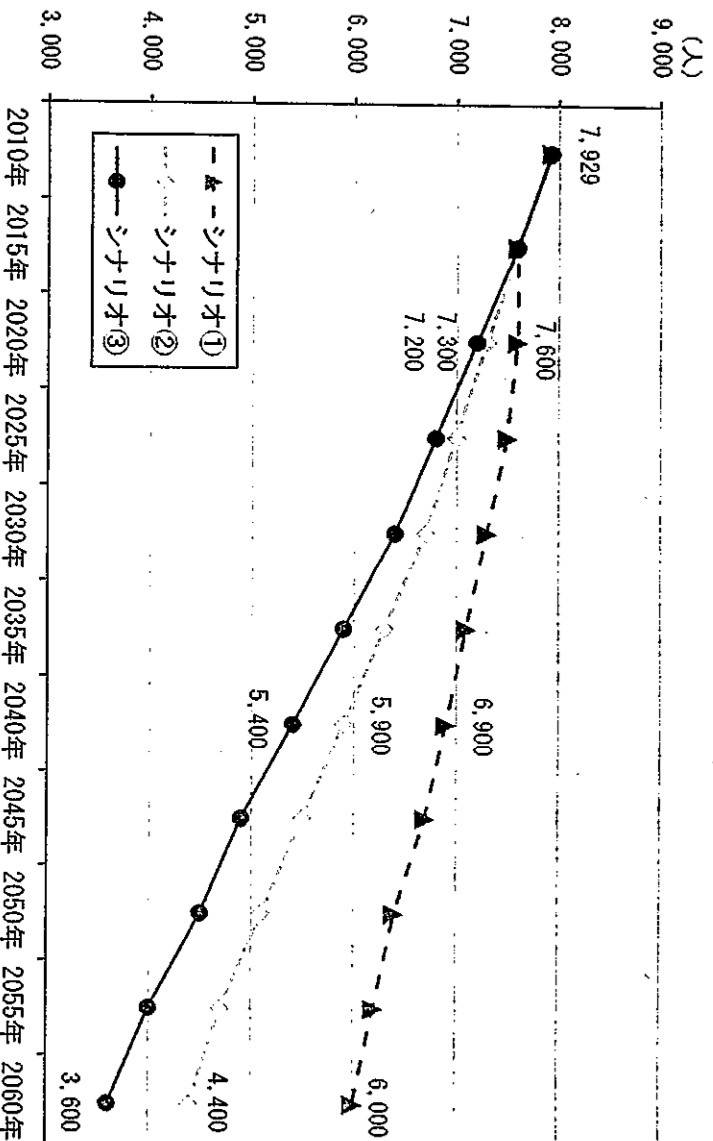
【グラフ15 奈良県人口の長期的見通し】

2060年に人口105万人以上を目指します



②安堵町人口ビジョンの将来人口の設定(案)

■ 3つのシナリオに基づく安堵町の将来人口



※ シナリオ①・・・第4次総合計画の目標人口ベース

(総合戦略の成果が最も現れた人口水準)

シナリオ②・・・奈良県推計ベース

(総合戦略の取組により最低限達成を目指す人口水準)

シナリオ③・・・社人研推計準拠

(何ら対策を講じない場合の人口水準) ↓

安堵町は、総合戦略の4つの基本方針を積極的に取り組み、

2060年に人口6,000人を維持することを目指します。

2. 本町の未来像(ビジョン)の実現のための基本方針

本市では、今後、少子高齢化の進展と、それに伴う生産年齢人口の減少の加速化が懸念されます。本市の人口の未来像(ビジョン)の実現にあたっては、20～30歳代を意識した生産年齢人口の維持・拡大が必要であり、そのためには、若い世代に評価される効果的な施策の展開が重要です。

そのため、次の方針に沿って効果的な施策を検討し、総合戦略において具体的な施策を設定します。

【未来像(ビジョン)の実現のための基本方針】

- ①安堵町で生き生きと働ける環境づくりを創出する
- ②文化・芸術・スポーツによる交流を通じ、特色ある安堵町をつくる
- ③「新生活を始めるなら安堵町」と思わせる魅力あるまちをつくる
- ④安堵町と近隣市町が連携し、快適・便利な都市圏を創造する